作成:町野町第一団地自治会

2024年

能登半島地震・豪雨災害から

① 輪島市、町野町の情報（面積、人口など）

② 町野町地震・豪雨の被害状況

③ 避難所の様子（地震）

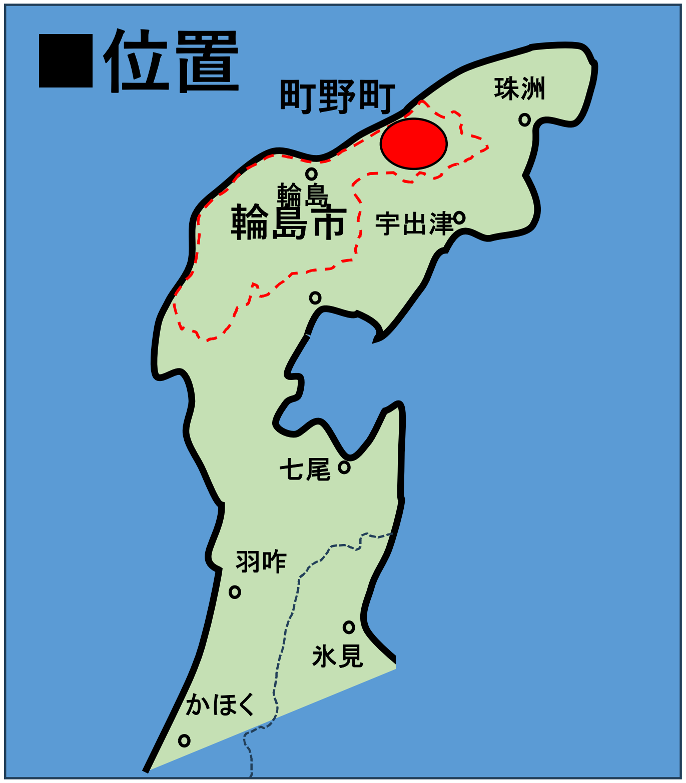
④ 応急仮設住宅（町野町第一団地）

自治組織の取組・防災対策

注）資料内容：町野町第一団地調べ＜実情と異なる場合もあります＞

①輪島市、町野町の情報（位置、地形、面積、人口）

■位置



■地形

町の中心に川が流れ、平野が広がり、
周囲が山に囲まれている

■面　積

輪島市：426ｋ㎡
町野町：　53ｋ㎡
（金沢市：469ｋ㎡）

■人　口（約）＜災害前＞

輪島市：　23,500人
町野町：　 2,000人
＜輪島市全体の8.5%＞
（金沢市：457,600人）

②町野町地震・豪雨の被害状況

■地震

・発生日時：令和6年１月1日　16時10分頃
・最大震度：7、規模：ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ7.6
・建物被害（住家）：約900件（輪島市全体の14.3％）＜輪島市約6,300件＞
・死　者（直接死）：15名　（輪島市全体の14.9％）＜輪島市101名＞
・行方不明者：1名＜輪島市2名＞
・避難所数・者数：16箇所、1,434人
・道　路：国道249号、県道6号、市道多数、がけ崩れにより通行止め
⇒町野地区は孤立
・ﾗｲﾌﾗｲﾝ：停電、断水、通信（携帯電話）不通
ﾃﾚﾋﾞ・ﾗｼﾞｵ停波＜基地局停電、予備電池枯渇により1月2日から＞

■豪雨

・発生日　：令和6年9月21日
・最大24時間降雨量：412.2ｍｍ（輪島）＜統計開始以来最大＞
・最大 1時間降雨量：121.0ｍｍ（輪島）＜統計開始以来最大＞
・死　者：4名　（輪島市全体の36.3％）＜輪島市11名＞
・ﾗｲﾌﾗｲﾝ：国道249号、県道6号、市道多数、通行止め⇒孤立
　停電、断水、通信（携帯電話）不通
　ﾃﾚﾋﾞ・ﾗｼﾞｵ停波

■応急仮設住宅（建設形）

・町野町第一団地：　81棟　約170人
・町野町第二団地：268棟　約480人

町野町第一団地

◆某自主避難所の様子

1月 1日

・自主避難所とした施設は体育館などがあり広いｽﾍﾟｰｽを持つ建物ではあったが、
天井、壁が破損していた為、限られた部分しか避難ｽﾍﾟｰｽとて使用出来ず。

・避難者の把握。⇒名簿の作成に着手。

18：00頃　避難者数は建物内：約150人　、駐車場車内：多数。

18：30頃　わずかであるが　みかん、おにぎりが届く。（届主不明）

20：00頃　体調不良等、医療が必要な人がではじめる。⇒消防と連絡を取り始める。
避難者が多く、横になるｽﾍﾟｰｽを確保できない。椅子を用いるが全員に行き
渡らず交代で使用する。

・通信不通により外部との連絡が取れないことから
情報がなく不安が続く。

１月 2日　【避難者数：約３００人】

・水、ﾄｲﾚ問題　飲料水：沢にくみに行く。　生活水：雪をたき火で溶かし利用。
ﾄｲﾚ用排水：用水路の水をくむ（夜通し）。

★食事

10：00　おにぎり、ﾊﾟﾝ、どらやきなど配布

15：00　おにぎり、みそ汁、1人1つ（避難者で用意、町野内から届く）

1月 3日　【避難者数：約３００人】

★食事

15：00　おにぎり、１人1つ

●支援物資：避難者が自主的に物資を持込み始める。

１月 4日　【避難者数：約２００人】

・幹線ではない市道（側道）を用いた町野ー柳田線が開通する。（小型車のみ）
・孤立解消、正月の帰省者等が避難所から去り始める。
・地元医師による訪問診療。
・自衛隊が入り始める。　　大川浜から海上自衛隊輸送艦の上陸等により。
・午後より、自衛隊からの支援物資が届き始める。
・衛星電話の設置

★食事
16：00　ｶﾚｰｽｰﾌﾟ、おにぎり（１人3個）。

●支援物資：行政、民間（個人）からの支援物資が届きはじめる。

1月 5日　【避難者数：約２００人】

・余震小さくなってきたので、建物の2階を使用しはじめる。
横になれるｽﾍﾟｰｽが十分に確保できるようになる。
・意思疎通を図る為に朝礼をはじめる。ﾎﾞｰﾄﾞを設置し情報共有を図る
・看護師による見守り訪問がはじまる。
・発熱者がではじめる。⇒指定避難所へ搬送。
・介護が必要な人には専任の介護担当者を決める。
・一部通信キャリアの電話がつながるようになる。

★食事
7：30　ﾘｿﾞｯﾄとおにぎり2つ。
12：00　水、おにぎり3つ　子供にはﾖｰｸﾞﾙﾄ
16：00　ご飯、みそ汁、おにぎり1つ

1月 6日　【避難者数：約２００人】

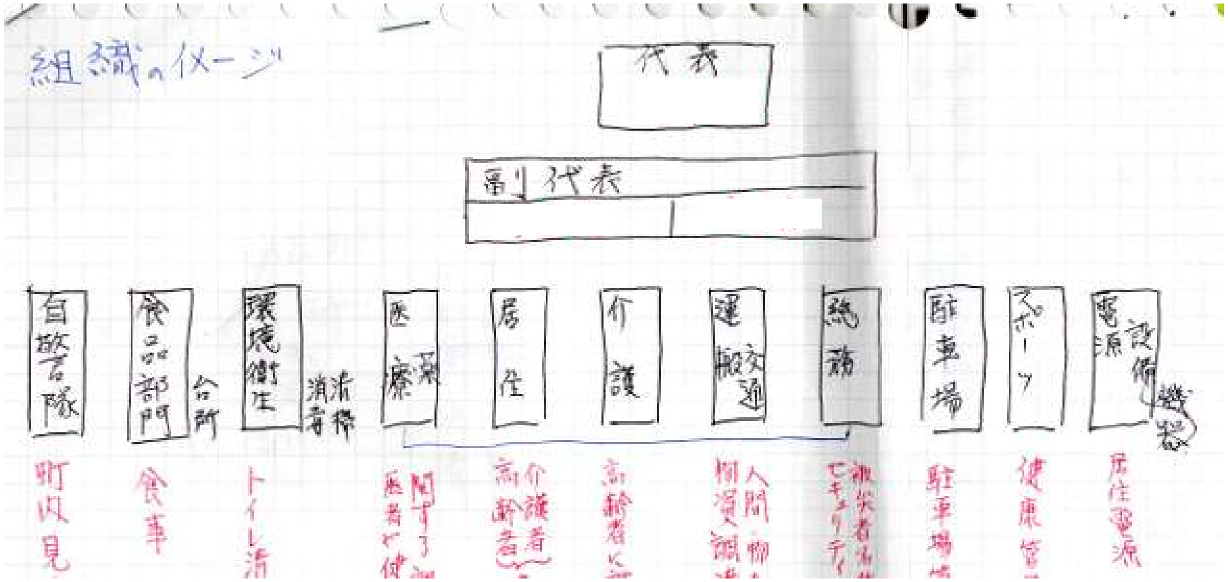
★食事

7：40　ﾊﾟﾝ、ｺﾋｰ缶

16：00　雑炊、漬物

1月 7日

- 避難所運営組織を立ち上げる
- ﾊﾌﾞﾗｼが配られる



★食事

8：10　ﾊﾟﾝ、飲物

12：00カップ麺

16：00豚汁、栗ご飯、漬物

1月　8日　夜間地域巡回ﾊﾟﾄﾛｰﾙを始める。

1月　9日　 1.5次避難の案内 。

1月12日　 仮設ﾄｲﾚが設置される。
　　　　　 2次避難の案内。
　　　　　（特別な配慮を要する方を受け入れるための避難所　ホテル・旅館など）

1月13日　自衛隊による仮設風呂支援が始まる。
　　　　　1.5次、2次避難がはじまる。

2月　1日　避難者数：約20人

・2次避難やみなし仮設住宅（民間賃貸）が進み
　2月中旬、避難所としての機能を終える。
・３月20日頃からこの仮設住宅への入居がはじまる。

◆自主避難所生活から

■行政からの支援物資（食料・飲料・毛布） → 発災から4，5日目（十分な量ではない）

■自主避難所

・発災時は行政も被災・混乱。
→ 行政の支援を受けながら住民自身での行動（たすけあい）が重要。

■地域のつながり（互いの顔、性格、特性（スキル）を知っている）
→ 会話ができるので安心感が広がる。
→ 役割分担ができ、避難所の組織が自然と形成される。避難所生活が円滑に。（トラブルが少なくなる）

■自主防災
→地域のつながり、備えが大切。
3日分程度の非常食・飲料、カイロ、モバイル電池等。

④応急仮設住宅（町野町第一団地）自治組織の取組・防災対策

■豪雨災害を受け住民組織の必要性を感じる

◆ｲﾝﾌﾗが極めて脆弱。 → 冬季など再度孤立が想定される。

◆住民のつながりあい。 → 安心できる団地生活。防災対策。

・世帯、人員の把握。 → 平等な（各人が納得する）支援物資の配布。

・団地内の課題や意見を集約。 → 行政への要望。
→ 例）ゴミ集積場など美化環境の改善等。

・憩いの場、こどもの遊び場の整備 → 狭い生活空間からのｽﾄﾚｽ解消。
（ネット環境によるYouTube等の適度な映像・音楽鑑賞 ※BHN様による支援）

・高齢・単身者への対応→ 緊急時の連絡先確認。

・自治組織（住民主体）行事の開催 → 親睦、引きこもり予防。
（料理教室・民謡教室・居酒屋・外部＜子供達＞との交流会など）

外部の方々との交流会

◆自治組織活動への協力、参加のよびかけ

→高齢者が多いのでﾃﾞｼﾞﾀﾙよりｱﾅﾛｸﾞ。声掛け、印刷物。

町野町第一団地の皆様　　令和7年5月31日

町野町第一団地自治会

プランター花を配布します

チームハヶ岳さまより、プランター花が今日（5月31日）、第一団地に届きました。
希望される方にお配りしますので参集ください。

配付日時：明日、6月1日（日）
8：30に集合ください
配付場所：集会施設前

※　希望され都合で来れない方は、隣近所の方に受取をお願いしてください。

とてもすてきなお花ですので、出来るだけ早く皆様にお届けしたいとの思いから、急な配布のお知らせとなりました。
どうぞご了承ください。

以　上

ｶﾗｰ印刷で花の美しさを知らせることにより、普段より多くの人が集まった

町野町第一団地の皆様　　令和７年７月28日

町野町第一団地自治会

停電のお知らせ

北陸電力送配電（株）から各世帯に届いている案内ﾊｶﾞｷ（7月22日投函）の通り、下記の日時で団地内全域および周辺地区が停電となります。
団地貯水槽ﾎﾟﾝﾌﾟも停止するため、上水道が使用出来ませんのでご注意ください。

停電日時：８月１日（金）
午前９：00〜午後０：00（正午）

※　ｴｱｺﾝ（集会場含む）が使用出来ません。熱中症等にご注意ください。なお、町野支所、または第二団地（東大野）の集会場・談話室で休憩ができます。必要に応じて利用ください。

※　停電時の注意事項が北陸電力送配電（株）からの案内ﾊｶﾞｷに記載されていますので確認ください。

以　上

電力会社からのお知らせには無い注意事項や対策を自治組織として伝達する

住民への案内（チラシ）例

※BHNﾃﾚｺﾑ支援協議会様支援によるﾊﾟｿｺﾝ･ﾌﾟﾘﾝﾀで作成。
案内は全世帯に配布。

■防災対策

◆食・飲料品の備蓄
水：4L/人、ｲﾝｽﾀﾝﾄご飯等：6食/人

◆ｶﾞｿﾘﾝ発電機の整備

◆対流式灯油ｽﾄｰﾌﾞの整備

◆燃料備蓄

◆防災用簡易ﾄｲﾚの備蓄

奥能登の紹介

■海、山、川のめぐみ

・景色　　海岸沿いの夕日　満天の星空

・食　　　外海（輪島沖）、内海（七尾湾＜富山湾＞）の幸
美味し米や野菜（水、土、昼夜の寒暖差）
塩田の塩

■伝統文化

・世界一の漆器＜Japan＞、輪島塗

・ｷﾘｺ祭り